

# 県安管協会ニュース

(一社)宮城県安全運転管理者協会・宮城県安全運転事業主会連合会

令和2年10月

No22

Tel022-361-0313

fax022-362-3801

e-mail

info@kenankan.or.jp

## 「信号機のない横断歩道」一時停止率

最下位の県はどこ!?

5.4%

全国平均21.3%

最上位県72.4%

### 【速報ニュース】

JAF日本自動車連盟の発表によりますと、今年8月12日から8月26日までの間に「信号機のない横断歩道」における歩行者優先についての実態調査を全国で実施した結果、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車は調査対象9,434台中、2,014台(21.3%)で、約8割が停止しない実態が明らかになりました。また、調査結果によりますと、一時停止率が最も高かったのは72.4%の長野県で、2016年の調査開始以来1位をキープしています。一方、今年の最下位は宮城県の5.4%でした。過去の宮城県の調査結果を見ますと、2018年が3.4%(全国平均8.6%)、2019年は7.4%(全国平均17.1%)と低水準であり、全国的には改善が認められる県等が増えている中において、不名誉な調査結果となった宮城県の実態を重く受け止めなければなりません。

### 【歩行者の交通事故発生状況】

令和2年9月末現在の歩行者が死傷した交通事故は、前年と比較して減少していますが、死亡事故は10件、10名発生しています。また、死傷者の約6割(405人中238人、58.8%)が道路横断中の事故でした。内訳は横断歩道上が157人と最も多く、横断歩道や歩道橋付近が9人、その他横断が72人でした。

横断中の事故の特徴としては、左から来た車両との衝突が多く、特に夜間は左からの車両と衝突して死亡又は重傷を負う事故が多くなっています。

### 【横断歩道は歩行者優先】

例年、今の時期から年末までの期間は、夕暮れ時から宵にかけて横断歩行者事故が増加する傾向となりますが、歩行者事故を防止するためには、冒頭のJAF日本自動車連盟の調査結果が示すように、宮城県の一時的停止率を全国平均に近づけることが肝要かと思えます。前号(県安管協会ニュースNo.21)にも掲載しましたが、当協会では、昨年来、「横断歩道は歩行者優先」の運動に取り組んでいますが、オリジナルの誘導旗(写真)を今年は550本作成し、各地区会に配付して活動に役立てていただいております。「マナーアップみやぎ」の運動が掛け声だけに終わっていませんか。幼児教育から必要では? -by:chiba-

